

平成 30 年 3 月 5 日

足立区立渕江小学校
学校長 矢田 泰久 様

足立区立渕江小学校開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

平成 29 年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

渕江小学校の現状に基づき、より良い学校にするために教職員が一丸となり、保護者・地域と連携をとり課題に取り組んでいる事を評価したい。また、十分に達成できていない取組み事項については関係機関と更なる協力体制をとり次年度に向け取り組んでいただきたい。そして、児童が愛着を持ち、誇りに思う学校づくりを実現するために協議会としても「渕江の子供たちのために」今後とも学校と協力して参りたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

児童への習熟度別対応・個別対応など一人一人に応じたきめ細やかな取組みや、若手教員の研修・教員の合同研究による指導力向上の取組みなど、一定の結果に繋がっており今後もより一層の成果に期待したい。

【健康な心身の育成】

挨拶の励行、いじめ根絶・不登校の解消、体育的活動の充実など児童の健康な心身の育成に学校全体として取り組んでいることを評価したい。特に挨拶は人との交流の始まりでもあり、相手を思いやる心、豊かな人間関係を構築するには必要不可欠なものである。学校としての取組みの枠以上に、家庭・地域でも大人が見本となり児童に挨拶の素晴らしさを伝えてほしい。

【保護者・地域との連携】

学校として各種 P T A・地域行事に積極的に参加する機会を持つ、各種ボランティアを地域から募るということは、地域に親しまれる学校・地域に愛される学校に

繋がり、その姿勢は大変評価できるものである。また、学校で学習した事を定着させるため、自ら学習することを習慣づけるための「家庭学習」や「家庭での生活習慣の取り組み」の大切さ、加えて「学校は集団生活を通して社会性を身に着ける場でもある」という認識を保護者に持ってもらい、協力してもらう必要があると感じる。学力向上・健康的な心身の育成と同じく日々の積みかさねを大切に、保護者・地域との連携を深めるため、交流や情報発信など継続していただきたい。

3. その他

現在の教員は若手が多く、浏江小学校も若手教員の指導力の向上を目指し、若手教員も日々精進していることが見て取れる。未来を背負って立つ子供たちとともにこれからも是非前向きに頑張っていたきたい。

浏江小学校の特色である伝統文化教育については、勉強や運動以外でも児童が活躍できる場と考え、児童のやる気を引き出す選択肢として今後とも継続していただきたい。